

田園都市線たまプラーザ駅のホームが華やかになりました！
～「たまプラーザ テラス」とデザインを統一～
旧たまプラーザ東急SC開業30周年記念企画第1弾

東京急行電鉄株式会社
株式会社東急モルズデベロップメント

東京急行電鉄株式会社では、1982年に開業した旧たまプラーザ東急SC開業30周年記念企画の一環として、田園都市線たまプラーザ駅ホームのデザインを、株式会社東急モルズデベロップメントが運営する同駅直結の商業施設「たまプラーザ テラス」と統一し、華やかなイメージに一新しました。

「たまプラーザ テラス」は2007年1月から2010年10月のグランドオープンまで、4回にわたり、段階的に開業してきました。この間、各開業時のテーマを、たまプラーザの街の成熟とあわせて開業していく様子を表現するため、街のシンボルである美しい並木道に例え、芽(2007年1月)、葉(2007年10月)、花・実(2009年10月、2010年10月)のモチーフを使用してきました。グランドオープン後は、これらを組み合わせたデザインを採用しています。このデザインをたまプラーザ駅のホームの壁面と柱にも取り入れることで、駅と商業施設の一体感をより強く印象付けることを目的としています。

【使用デザイン】



サウスプラザ
開業広告
(2007年1月)



ゲートプラザ
開業広告
(2007年10月)



ゲートプラザ
開業広告
(2009年10月)



グランドオープン
広告
(2010年10月)



開業後広告
(2010年10月以降)



【駅ホーム】



以上

(参考)

たまプラーザ駅概要

たまプラーザ駅は、2010年10月7日にグランドオープンした商業施設「たまプラーザ テラス」を中心に、街の活性化を目的として、駅施設の改良ならびに駅周辺開発が進んできました。既成概念にとられない取り組み「3層吹き抜け大空間」「コンコースの開口」などにより、駅と商業施設の建築的融合を図り、互いに機能を補完しあうことで街の玄関口となる魅力的な空間を実現しています。

なお、駅を挟んだ街の南北の回遊性、交通ターミナルの乗り換え利便性とあわせて総合的に評価され、2010年10月には、社団法人鉄道建築協会による鉄道建築協会賞の作品部門で、全国の鉄道事業者から応募された全75作品の中から選ばれ、最高の賞である『最優秀協会賞』を受賞しています。

たまプラーザ テラス概要

「たまプラーザ テラス」は半世紀にわたり、東急電鉄が手がけてきた「東急多摩田園都市」開発の集大成として、田園都市線沿線の生活者のライフスタイル実現と、地域のコミュニティ育成を支援する「ライフスタイル・コミュニティ・センター」をコンセプトに、139の専門店のほか、コンサートやイベントを開催できる広場やコミュニティホールなどが集積するショッピングセンターです。

本年、「たまプラーザ テラス」の前身となる旧たまプラーザ東急SC(1982年開業、現・たまプラーザ テラス ノースプラザ)が開業30周年を迎えることから、「たまプラーザ テラス」では本企画を皮切りとして、各種記念企画を展開していきます。

- ・所在地 横浜市青葉区美しが丘一丁目1番地2
- ・規模 店舗数139店舗、店舗面積 約60,000㎡
店舗数はノースプラザ(東急百貨店)除く
店舗面積はノースプラザ(東急百貨店)含む
- ・駐車場 約1,500台
- ・URL <http://www.tamaplaza-terrace.com/>



以上